

写真で見る 養育院巣鴨分院

東京市養育院写真帖と 創立60周年記念写真帖から

櫻園通信 69 令和3年1月
東京都健康長寿医療センター
養育院・渋沢記念コーナー
連絡先: 老年学情報センター

監修: 稲松孝思 顧問医
作: 栄畑南美 (えぼた なみ) 老年学情報センター

正門から見る巣鴨分院 1929年(昭和4年)



東京都健康長寿医療センター（以下、センター）の前身・養育院は、1872年（明治5年）に病人、孤児、障害者、困窮者などの保護施設として設立されました。

センターには、養育院時代の貴重な資料が保存されています。

今回は、保存資料のうち、1910年（明治43年）発行の「東京市養育院写真帖」と、1932年（昭和7年）発行の「創立60周年記念写真帖」から、孤児教育施設・養育院巣鴨分院の写真をご紹介します。

養育院巣鴨分院は、入所人数の増加と、養育院にいる大人から子どもたちへの悪影響が懸念され、1909年（明治42年）に独立した孤児教育施設です。巣鴨分院は、1942年（昭和17年）に練馬区の現在の土地に移転し、名称も東京都石神井学園に変更され、児童養護施設として今に至っています。



左の写真は、1909年6月5日の巣鴨分院開院記念式で撮影された写真です。創立時から、とてもたくさん子どもたちが巣鴨分院で暮らしていたことが分かりますね。



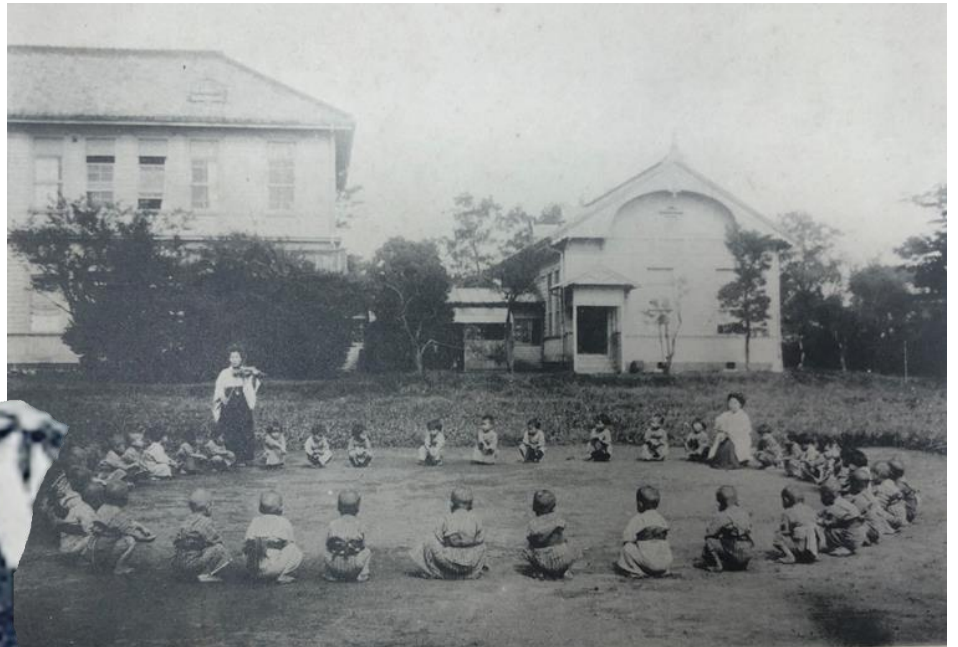


巣鴨分院では、当時の幼稚園や小学校程度の教育を行っていました。

右の写真は、創立当時（1909年頃）の授業の様子です。



右の写真は、巣鴨分院の幼稚園児たちが輪になってお遊戯をしている様子です。左に立っている先生らしき女性が、バイオリンのような物を持っているのが見えます。



左の写真は、1932年（昭和7年）のひなまつりの様子です。おひな様が飾ってありますね。

巣鴨分院では、授業だけではなく、季節の行事も行われていました。



【写真出典】

東京市養育院編著（1910）『東京市養育院写真帖』東京市養育院。
（1932）『創立60周年記念写真帖』。